

お好み焼き，どちらがお得かな？

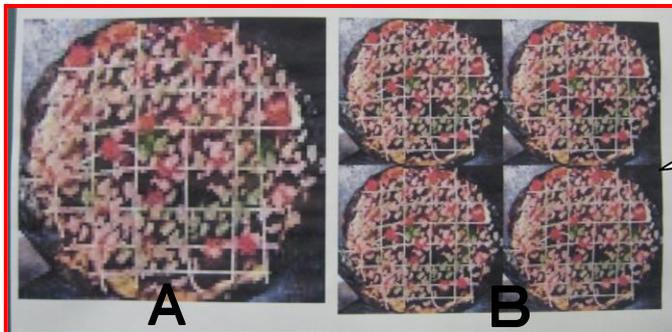
単 元	円の面積	対象学年	6 年
ね ら い	円の面積の導入で，意欲関心を高める。		

1 準備するもの

教師： お好み焼きの写真，学習プリント

2 学習のしかた

(1) AとB，2つのお好み焼きを児童に見せる。



Aは半径10cmのお好み焼きが1個、Bは半径5cmのお好み焼きが4個あることを押さえておく。

(2) 「この2つのお好み焼きは同じ値段，同じ味です。どちらがお得かな？」と発問する。

本時では「同じ値段で同じ味なのだから大きい方が得」という意見の児童を取り上げて「どちらが大きいか」という視点で授業を進めた。「どちらがお得かな？」と発問したため、「4つに切れている方が食べることを考えると楽。」という意見も出たので、面積を求めるといふ方向にいくように助言した。

(3) どちらの面積が大きいか予想させる。

予想させることで，実際に結果を出した時に同じ面積であるという驚きを与えることをねらいとする。

本時で予想させた結果は、Aが大きいと思う児童が11名、Bが大きいと思う児童が8名、同じであると思う児童が11名であった。

(4) 面積の出し方を考えさせる。

既習事項を利用して，お好み焼き（円）の面積の出し方を考えさせていく。最初は，円の内接正方形と外接正方形の面積を使えば大体の面積が分かることに気づかせる。最終的には円の面積の公式を考えさせる。

3 学習上の留意点

- ・得という伝え方をするため，多様な意見が児童から出てくることが考えられるため，円の大きさに視点を置いている方法を取り上げて，面積を求めるといふ方向に導く必要がある。
- ・お好み焼きの厚さは考えないことを児童に伝えておく。

4 学習の効果

- ・生活に関わる教材を用いて考えていく導入を行うことで、児童の意欲を向上させることができる。
- ・導入で行うことで、単元の終わりまでお好み焼きの面積を求めるという目的をもって円の面積の出し方を考えることができる。
- ・予想を行うことで、お好み焼きの面積を求めた時に面積は同じであるという意外性を感じ、さらに円の面積に対して興味や追関心が出てくる。

5 参考資料

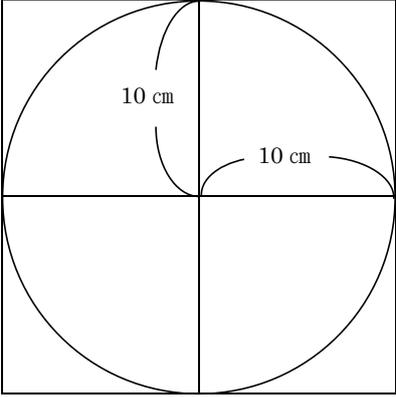
使用したワークシートをのせておく。

算数ワークシート

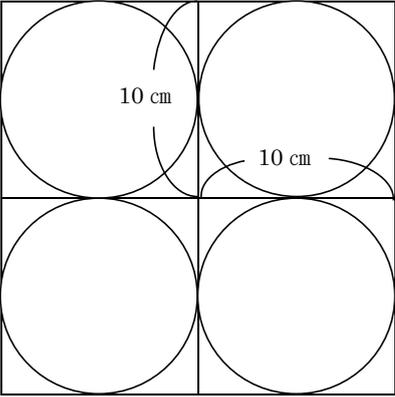
どちらが大きいでしょう

6年 組 番 名前 _____

A



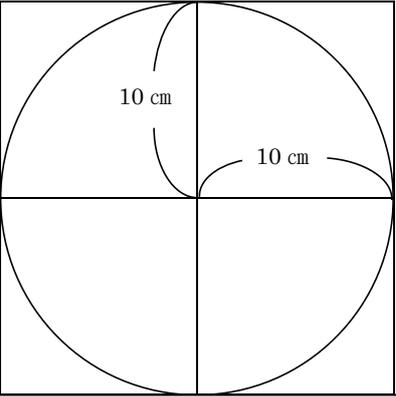
B



予想

↓ どうすれば分かる？

Aで考えよう!



ここでは「AとBのどちらが大きいか」の予想を書く。本時では、A、Bの図に書き込んだ、すき間の大きさを考えながらなんとか2つの大きさを比較しようとする児童の姿が見られた。

ここには、円の面積を求めることができればよいという考えが入る。

ここで、既習事項を使っておおよその面積を出す。内接正方形と外接正方形を利用すれば、円のおおよその面積が分かることを学ぶ。